



2015 紀の国 わがやま大会

第15回全国障害者スポーツ大会 躍動と歓喜、そして絆

審判(副)委員長

氏名： 谷口和久

確認： 済

バレーボール競技 戦評用紙

種別 **精神障害者の部**

会場 **田辺市体育センター**

平成 27 年 10 月 24 日 土曜日 第 1 日目

A コート 第 **2** 試合

1回戦 交流試合 準決勝 3位決定戦 決勝

◎試合結果

勝利チーム	}	13	—	25	}	1	山口県
福岡県		25	—	18		1	山口県
2		25	—	20		1	山口県
都道府県 指定都市名						都道府県 指定都市名	

【審判員】

主 審： 谷口 和久 副 審： 北村 芳浩

記録員： 磯部 孝介 A・S： 小山 美月・西田 拓大

【戦 評】

記載者： 矢野 孝信 (戦評委員)

1セット目開始直後に山口県8番重田選手、11番松井選手、5番上田選手のスパイクなどによって、5-0まで点差を広げる。しかし福岡県4番小野選手の2連続サービスエースや3番本告選手のブロックなどによって6-6の同点へと追い上げ、その後山口県が徐々に点差を広げ、最大で12点差をつける。福岡県も3番本告選手のスパイクで反撃したが、25-13で山口県が1セット目を先取した。

2セット目、スタートから福岡県は2番富安選手のブロック、4番小野選手のサービスエースで流れをつかむ。山口県にスパイクを打たれるも、福岡県3番本告選手の好レシーブやスパイクなどにより9-2までリードを広げる。山口県も負けじと1番國吉選手を中心に15-17まで追いつくが、福岡県の流れは切れず25-18で福岡県が2セット目をとった。

3セット目はサービスエースや長いラリーによってお互いに譲らない展開となった。20-20で迎えた終盤、福岡県4番小野選手のサーブから流れをつかみ、最後は福岡県のエース3番本告選手がスパイクを決め、25-20となり、セットカウント2-1で福岡県が勝利した。

150

300

450